

平成24年度 学園研究費 研究概要報告書

研究者所属 情報環境学部 情報環境学科

研究者氏名 佐藤 弘康 印

研 究 課 題	研 究 進 行 状 況	発 表 状 況
「ホロ球面の幾何と Hadamard 多様体の双極性」	ホロ球面の幾何が上の空間の幾何にどのような影響を与えるのか調べている．本年は前年に得られた体積エントロピーの剛性定理の複素版および四元数版の結果を得た．複素双曲空間および四元数双曲空間は（ある特別な構造を許容する空間の中で）体積エントロピーの上限値を与える空間として特徴づけることができることがわかった．	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伊藤光弘, 佐藤弘康, ホロ球面の幾何による双曲空間の特徴付けについて, 数理解析研究所講究録, 1817 (2012), 38-51. (RIMS 研究集会「部分多様体と四元数構造」,にて発表. 6月26日) ・ M. Itoh and H. Satoh, Horospheres and hyperbolic spaces, Kyushu J. Math., to appear. ・ Rigidity, volume entropy and Kahler, quaternionic Kahler Hadamard manifolds, 日本数学会 2012 年度秋季総合分科会, 2012 年 9 月 20 日, 九州大学 伊都キャンパス.